

令和8年度鹿児島市立武中学校グランドデザイン

学校経営の柱

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・中央教育審議会答申
- ・学習指導要領

- ① 自他の生命の尊重と規範意識の育成
- ② 教育DXの積極的な活用
- ③ 運動に親しむ機会の充実
- ④ 地域行事への積極的な関わり
- ⑤ 家庭との連携と家庭教育の支援

- ・鹿児島県第四期教育振興基本計画
 - ・第二次鹿児島市教育振興基本計画
- 豊かな心をはじめ、確かな学力、健やかな体の3つのバランスのとれた「生きる力」を育む教育

学校教育目標

自他を大切にし、共に成長する生徒の育成

めざす生徒像

自主

人として正しいことを自ら考え実践し（敬天）、学び合いをとおして互いに高め合い、共に成長する生徒

協同

自分とともに周りの人の大切さを認め（愛人）、協力して他の人のために行動できる生徒

永続

武中生としての誇りを受け継ぎ、夢実現のために粘り強くやり抜く生徒

健康

心と姿勢を正し、たくましく行動できる気力と体力を培う生徒

めざす学校像

- (1) 教師と生徒が心を通わせ、長期的な支援を行うなど粘り強い教育実践を行える学校
- (2) 基礎・基本を大切にし、自ら学び、考え、主体的に判断し行動する能力を育む学校
- (3) 関係機関と連携し家庭支援を含めた生徒対応のできる学校
- (4) 美しく整った環境の学校

めざす教師像

- (1) 生徒に対し、もてる愛情を惜しみなく注げる教師
- (2) 生徒理解を基本とし、生徒情報を深掘りしながら対応できる教師
- (3) 生徒の変容を待てる諦めない教師
- (4) 生徒の進路実現に向けて日々の授業を大切にできる教師

めざす保護者との連携

生徒の成長を相互に共感し、生徒の進路実現のための積極的な情報交換を行える学校

めざす地域との連携

地域行事への積極的な参加により、生徒に役割と意義を見いだし、自信と誇りを身に付けさせるとともに、中学生に対する地域の理解を促進させる学校

令和8年度の取組の重点

取組1 学習指導の充実

ア2分前着席、1分前黙想、「立腰」の徹底
イ「見通しの共有」、「個や協働の学びの充実」、「振り返りの設定」、「確認問題の実施」を踏まえた授業づくり
ウ形成的評価後の徹底した見届けと「先生AI」の活用した基礎的・基本的内容の確実な定着
エ学習の手引きを活用した家庭学習の充実
オ特別な配慮を必要とする生徒への支援と合理的配慮を踏まえた指導
カ朝読書の充実と図書館の積極的な利用
キ共通項目を基本とした設営の充実

取組2 生徒指導の充実

ア発達支援の生徒指導の理解と自己理解を図らせる対話的アプローチ
イいじめ防止対策推進法への理解
ウ生徒情報の深掘りと初期対応の徹底
エ温かい雰囲気と集団としての規律を確立した学級づくり
オ関係機関との連携と家庭支援
カ生徒会の主体的活動の実現と早期の計画・長期的な支援
キ警察機関と連携したSNS等の情報モラル教育の推進と生徒指導事案への対応
ク日常的な保護者連携による信頼関係づくり

取組3 道徳教育・人権教育の充実

ア価値の追究が持続する授業づくり
イ生徒相互の対話と生徒の眩きを見逃さない授業づくり
ウ外部人材を活用した人権教育の推進
エ生徒のよさを認め合う校内設営
オ教職員の人権意識を高める校内研修

取組4 キャリアの充実

ア全学年への定期的進路情報の発信
イ高校説明会への積極的な参加
ウキャリアパスポートの計画的活用
エ勤労観・職業観を育む職場体験活動や職業人講話の実施

取組5 保健・安全指導の充実

ア生徒主体の学校行事の計画と運営
イ部活動の奨励
ウ個々の目標の設定と教科体育における体力づくり
エ健康・安全教育の推進
オ歯治療率の向上
カ感染症対策に向けた指導の徹底
キ残食減に向けた給食指導、食育指導
ク安全点検を通じた施設の修繕と改善

取組6 信頼される学校、業務改善の推進

ア服務規律の厳正確保
イ各種展覧会等への積極的応募
ウかごしま教員育成指標を活用した学び続ける姿勢の形成
エHPによる教育活動の積極的な広報
オICT活用や校務支援員等の活用
カ職場環境の改善

取組7 地域とともにある学校づくり

ア学校運営協議会の計画的実施と学校運営への反映
イ週休日実施の学校行事の充実と地域行事への積極的な参加
ウ各校種の教育活動への理解
エ地域素材を生かした教科等の指導
オまちづくり協議会、PTA等と連携した社会教育活動の支援